1998.8.31発行
No.19

Nihongo Network News

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823　東京都新宿区神楽河岸1-1　東京ボランティア・市民活動センター気付 ☎03-3235-1171

“第二回 ネットワーク情報交換会”

「ボランティアと学習者との関わり」をテーマに開催されました！

国際化が進むなか、海外各国から来日した大勢の外国人が各方面で活躍しています。新たに日本を訪れた人が短期・長期に日本で生活をするとき、第一に言葉と習慣などの壁に当たり、ときに日本語を学べる場所を求めます。一方、日本語ボランティアはこうした人たちのニーズに応えるようさまざまな形で活動をしています。

日本語ボランティアに関する幅広いテーマを自由に話し合い、情報交換をするための場として5月からスタートした“ネットワーク情報交換会”の第二回が7月17日午後6時より、飯田橋の東京ボランティア・市民活動センター会議室において開催されました。

今回は「ボランティアは学習者とどう関わって行くか」をテーマに、次の３点を取り上げ、活動に当たっての問題点と活動例・考え方など、熱のこもった意見交換が参加者の間でなされました。

①学習者の立場とボランティアの立場

日本語ボランティアの基本は学習者のニーズに応えることで、まず相談室やコーディネーターが学習者のニーズを聞き、カルテを作り、学習者とボランティアをうまく組み合わせ、担当者と学習者とで学習内容や方法を決めることからはじまる。

学習者の継続性の問題については学習者の事情もあろうが目的を達成してもらうには、教え方以前にサークル・ボランティアと学習者との間での信頼関係が必要である。また、ボランティアとしては教室はいつも新しい発見と勉強の場であり、そこから学ぶ姿勢が必要である。こうした中から学習者のニーズに応えて行けるのではないか。

ボランティアの確保に頭を痛めている団体も多い。特に活動する時間帯（夜）、地域・環境によってはいくら募集してもボランティアが集まらない。このためには地域で日本語教師養成講座を頻繁に開き、その上必要とされる時間帯での講習など、工夫・配慮が必要である。

活動を長続きさせるには活動について同じ方向を向いていっしょにできる人たちが集まることが重要など、ボランティアの立場についての議論が多かった。

②交流と支援

学習者に他のサークルを紹介する、学習者が他の異文化交流グループ等に参加する機会を作る、日本語スピーチコンテストを開く、等の活動例が紹介された。

③支援の限界とその橋渡し

日本語ボランティア活動の中で難しい問題である。学習者とボランティアとが日本語学習を通した交流範囲の枠を超えて誤った方向に進み、トラブルを起こす例がある。このときはボランティアへの注意、ボランティアの責任を喚起する必要がある。学習者が警察に逮捕されたケースを例に、ボランティアがどこまで対応できるか、外国人専門に扱う弁護士や行政機関等への引き渡しについて話し合われた。

（梶村 勝利）

平成10年度『ボランティアリーダー研修会』
「今、社会の流れを見極めるために」

東京都社会福祉協議会とボランティア団体連絡協議会実践団体部会の共催による恒例のボランティアグループリーダー研修会が、6月27日(土)午前10時より、飯田橋のセントラルプラザに於いて開催されました。

午前中は二つの講座で介護保険とNPO法について学習しました。午後は4つの分科会（①介護保険とボランティア、②NPO法とボランティア、③グループリーダーの悩み・壁、④グループリーダー入門ABC）に分かれて意見交換をしました。この話し合いは全体会を含め4時間半に及びましたが、まだ語り尽くせないところは夕方からの懇親会で延長戦になりました。懇親会では食事サービス団体の手作りのご馳走や賞品つきゲームもあり、午後7時過ぎに散会するまでにぎわいました。長い一日でしたが、参加者のみなさんは充足感をもって帰途についたことと思います。

TNVNが進行を務めた分科会④は17名の参加で、グループリーダーの資質について考えました。まず、まちだ日本語ボランティアネットの床呂さんが問題提起者の一人として自らの体験を披露。次に、豊島ボランティア連絡会の山口さんが用意した「あなたのボランティアリーダー度チェック」で自己点検し、ボランティアリーダーはどのような考え方をしたらよいか話し合いました。最後に、4つのグループに分かれ、新しく活動を始めるためのシュミレーションをし、場所・資金・器材・情報・PRなどについてアイディアを出し合いました。点訳・精神障害者支援・日本語ボランティアなど、それぞれ関わっている分野は異なりますが、互いの活動を知り自分たちの経験を分かち合うために活発な論議が行われました。

『TOKYO 地球市民フェスタ '98』
セミナーや展示など多彩なイベントを開催

昨年2月に東京国際フォーラムのオープニングイベントの一環として開催された第一回に続いて、第二回『TOKYO 地球市民フェスタ '98』が5月22日(金)～24日(日)の3日間にわたって開催されました。このイベントには、国際交流・協力・外国人支援にかかわるボランティア団体・NGOや東京都など71団体が参加。さまざまなイベントを通して地域における国際化について考えることを目的に開催されたものです。

今年は、両国の江戸東京博物館を会場に、各種のセミナーや外国人なんでも相談、参加団体のブース展示やエスニックレストラン、ミニステージなど、多彩なイベントを開催。24日には有楽町の東京国際フォーラムで「共生のまち21世紀の東京へ」と題したシンポジウムも開催されました。

このイベントに実行委員として参加しているTNVNでも、江戸東京博物館3階広場に展示ブースを出展。「ボランティア日本語教室ガイド」や「ボランティア日本語教室の現状と日本語ボランティアの意識調査」の販売、ニュースレターや活動案内の配布、日本語ボランティアの相談などを行いました。

にほんご アイデア ボックス

入門→初級用

日本語学習支援のための三つのヒント

ボランティア日本語教室での学習は学習者のニーズもさまざまで、既存のテキストや教授法通りにはいかないこともしばしばあります。
このページでは、日本語学習者を支援するときに、役立った教材、理解を早めたアイデア、上達を助けるコツなど、経験から生みだされた工夫やアイデアをご紹介します。学習に取りいれて効果を上げているアイデアやヒントなど、皆さんの財産も分けていただけませんか。ご提供くださる方は、郵便かFAXでTNVN事務局までお寄せください。

（林川 玲子）

Ⅰ．教室用語表を作りましょう

ひとことも日本語を話さない学習者とコミュニケーションをとるために最低限必要な４つの言葉と、学習者のための２つの言葉。
それぞれの言葉の意味は、上級の学習者にそれぞれの母国語で記入してもらいましょう。

漢字かな混じり	ローマ字	英語	中国語	ハングル	タガログ語	ポルトガル語	等
見てください	Mitekudasai						
聞いてください	Kiitekudasai						
言ってください	Ittekudasai						
もう一度（学習者用）	Moo ichido						
ゆっくり	Yukkuri(ittekudasai)						
わかりません	Wakarimasen						

Ⅱ．役に立つ五十音表（いろいろ活用できます）

①発音練習

声を出して読む(日本語のリズムで)ことによって、日本語の音とリズム、アクセントに慣れることができる。

②ひらがなの読み方

（発音記号の役目をする）

ローマ字・かなかな・漢字でもひらがなのルビをふることによって読むことができるようになる。

③ローマ字の読み方

（ヘボン式ローマ字）

④動詞の活用表

（１グループ／五段活用の動詞）

たとえば「書きます」の辞書形は「書く」になるというように、五十音表を使って説明できる。

あ a	い i	う u	え e	お o
か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko
さ sa	し shi	す su	せ se	そ so
た ta	ち chi	つ tsu	て te	と to
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no
は ha	ひ hi	ふ fu	へ he	ほ ho
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo
や ya	い i	ゆ yu	え e	よ yo
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro
わ wa	い i	う u	え e	を wo
ん n				

Ⅲ．あいさつ言葉はＴＰＯに気をつけて（一日中同じあいさつをする国もあります）

①時間によってかわるあいさつ

おはようございます、こんにちは、こんばんは、おやすみなさい、等

②出会ったときにするあいさつ

おはようございます、こんにちは、こんばんは、等

③別れるときにするあいさつ

さようなら、おやすみなさい、等

④初めて会ったときにするあいさつ

はじめまして、どうぞよそしく、等

⑤家庭内で交わすあいさつ

おはようございます、おやすみなさい、いってまいります、いってらっしゃい、ただいま、おかえりなさい、等

Nice to Meet You

日本語を教えることは日本の文化を伝えること

あきる野市日本語サークル（あきる野市）

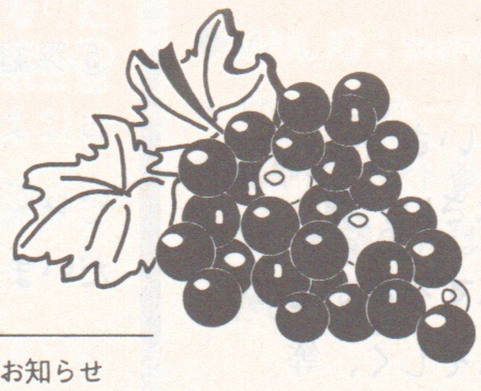
外口 光博

「これで終わりにしないでください」「もっと日本語を勉強したいです」あきる野市主催の『外国人のための日本語教室』(全10回)終了後、受講生の外国人の方々から出たそんな希望に応えて「あきる野市日本語サークル」というボランティア組織が発足しました。

ベトナム・ラオスの難民の方たちをはじめ、フィリピン・タイ・中国・ブラジル・ペルー・アメリカといった国々の方たちが、毎週金曜日の夜7時30分から9時まで、実に一生懸命に学習しています。私たちのボランティア方針は「『大丈夫ですよ』と言ってあげよう」というもので、外国人の方たちの心の支えとなれるよう努力しています。

授業は、前半がクラス・レッスンで、同じ時間を全員が共に過ごすという目的も兼ねて行われています。後半はマン・ツー・マン形式で、学習者のそれぞれのニーズに合わせて授業が展開されています。その他、レクリエーションを楽しんだり、イベントに参加したりして、日本人と外国人との親睦を深めることにも努めています。

ことばは文化です。日本語を教えるということは、日本の文化を伝えるということです。そこで私たちは、日本の文化を伝えるということも合わせて行っています。「日本に来てよかった」「日本はいい国だ」「日本人はいい人だ」そう思っていただけるように私たち「あきる野市日本語サークル」のボランティア一同がんばっています。



※市川ユネスコ協会日本語教室から、訂正のお知らせ
前回の原稿のなかで「市民の7人に1人が外国人」という記述は「55人に1人」の誤りでした。

日本語学習と医療センターを支援しています

ビバ日本語教室（港区）

林川 玲子

ビバ日本語教室は、大学病院の外国人研究員の日本語を勉強したいという声を受けて、1997年8月に病院内で活動を始めました。その後、外部の方たちも受け入れようと、近くの福祉会館に教室を移しました。毎週木曜日の午前中、教室を開いています。ボランティアはすでに他のグループで活動している人、講習会を修了したばかりの人、初めてかかわる人といろいろなご縁で集まった女性ばかり。場所を移してからしばらく学習者のいない期間があったので、活動の取り決めや、日本語学習方法の基本的な申し合わせなど、じっくり話し合うことができました。

学習者は、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカと世界各国の方たちで、近くに外国人研究員の宿舎があるため、研究員の方やそのご家族、それから大使館の方などです。各分野での専門家が多いため、専門的な質問でボランティアが悩まされることもしばしばです。子連れの学習者もいて、子どもはお母さんのとなりでおとなしく絵を描いたりしていますが、隣接の児童館で遊ばせてくれる保育ボランティアがいるとよいと思っています。

活動を始めて1年足らず、日本語学習以外の活動はまだありませんが、今後はお花見などもしたいと考えています。

この教室は、バングラデシュの医療センターを支援しているビバトランスプランテーション・日本バングラデシュ腎臓病センター基金(ＪＢＫＣ)の活動のひとつです。ＪＢＫＣの他の活動には、チャリティーコンサートやバザー、スタディツアーなどもあります。

第12回

「正しい日本語」とは何か
『勉強』としての日本語教育

日本大学講師 福田知行

試験などで「まで」と「までに」の使い分けが出題されることがよくあります。たとえば「きょうは7時＿＿うちに帰らなければなりません。」(平成8年度日本語能力試験3級、読解·文法)という日本文に対して〔1 まで 2 までに 3 までは 4 までも〕という選択肢があって正しいものを選ぶという問題です。正解は2の「までに」だというのですが、これも前回と前々回に述べた問題と同じように、状況によってはすべてが使える場合があります。「まで」はその時点までの状況の継続を表し、「までに」はその時点までに何か出来事が起きるという意味ですから、「きょうは7時まで(うちに帰らなければならないという)状態が続く」という意味にとるならば、その他の選択肢も正しくなるのです。

しかし、問題は日本人でも「まで」と「までに」の違いがはっきりしていない人がいるということです。つまり、上記の問題で「まで」と「までに」のどちらを使っても意味に違いはないという人がいるのです。これは方言による差なのか年代による差なのかわかりませんが、どちらにしても日常生活ではそれほど問題にならないし、あまり目立たない違いだと思います。それにもかかわらず、こうした試験にはよく出題され、またほとんどの教科書に必須項目として載せられていることに疑問を感じます。

さらに言えば、日本語教育自体に疑問を感じることが多々あります。たとえば、こうした点はちゃんとできるのにもっと目立つ間違いをしてしまう人はどうしたらいいのか、また、わかっていても実際にはなかなか使えない人はどうしたらいいのかという問題のほうが深刻だと思うのですが、そうしたすべてのことを学習者個人の努力不足に帰してしまっていいのでしょうか。たとえば「安いの本はどれですか」「いいだと思います」という文は、かなり日本語を話せる人でも間違いが多いようですし、ほかにも「わかりましたか」「はい、わかります」など、そうした例は枚挙にいとまがありません。

結局、生活に必要な日本語を「覚えていくこと」が日本語を「勉強すること」や日本語を「学ぶこと／教えること」になってしまったからではないでしょうか。

国際電話のKDDが国内電話サービスをスタート!

◎6秒ごとに1円から2.3円という新しい料金システムで、日本の電話を変えました。

6秒ごとに1円から2.3円が加算されていく料金システムなので、これまでの10円(または9円)単位での料金と比べてムダなくお得です。つまり「話した分だけ」の料金に、より近づいたわけです。さらに、夜11:00～翌朝8:00なら、全国どこへかけても6秒ごとに1円という、わかりやすくお得な料金(3分たったの30円)。市外通話が断然お安くなりました。

◎めんどうな手続きや登録料·基本料は一切ありません。

お申し込みの手続きはもちろん、工事やアダプターなど、一切必要ありません。すでに他の会社と契約していたり、自動的に回線を選択する装置(LCR等)付きの電話機をご使用の場合でも、そのままご利用いただけます。

◎かけかたはカンタン。ご家庭の電話からいますぐに「001」でかけられます。

001 ▶ 市外局番 ▶ 電話番号

(例) 大阪 06-123-4567 にかける場合
001 ▶ 06 ▶ 123-4567

6秒1円から、ムダなくおトクな国内電話

ゼロ ゼロ イチ
001番 1円電話

1円は夜11:00～翌朝8：00の6秒ごとの料金

●お問い合わせ●
ゼロ ゼロイチで コ ク ナ イ
0120-01-5971

歌舞伎俳優　市村 萬次郎さん
『外国人の為の歌舞伎教室』実行委員会

東京都港区高輪3-19-7
電話：03-5420-4520 FAX：03-3447-3507

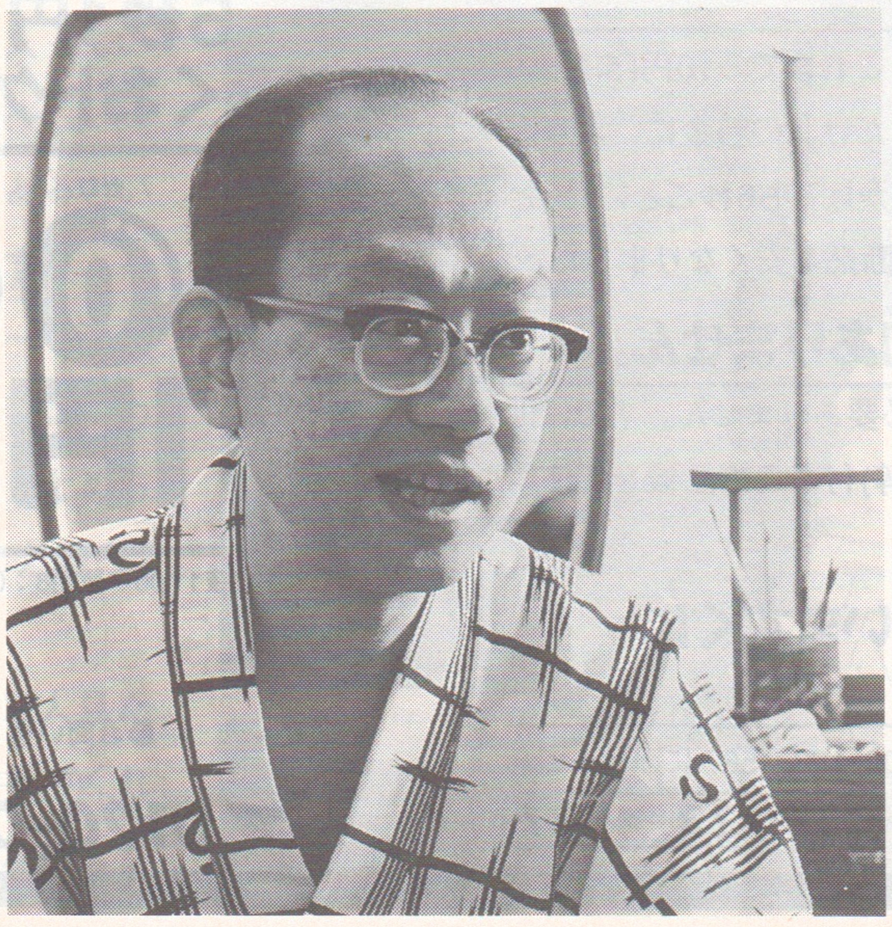
歌舞伎を通して日本文化を紹介し、世界に人々の交流の場を提供したい

さまざまな分野での国際交流活動がますます活発になるにつれ、日本語ボランティアへの関心も高まってきています。TNVNでも東京都国際化推進指導者セミナー等各地で日本語ボランティアをテーマとする分科会やシンポジウムを開催。そのなかで決まって話題になることは、日本語を教えるだけが日本語ボランティアの役割ではないということです。日本語の学習はあくまでも手段であり、重要なのは生活ケアや日本の生活･文化の紹介にあるのではないでしょうか。

そこで今回は、毎年『外国人の為の歌舞伎教室』を主催して、在日外国人に日本の伝統文化を紹介している歌舞伎俳優の市村萬次郎さんをお訪ねして、この活動についてお話しをうかがいました。

難解と言われる歌舞伎を在日外国人に紹介

今年で第七回目の開催となる『外国人の為の歌舞伎教室』は、タイトル通り在日外国人のために企画された歌舞伎公演。解説や通訳のついた歌舞伎の公演なので、外国人はもちろん、初めて歌舞伎を見る日本人にも好評で、毎回多くの観客でにぎわっています。この『外国人の為の歌舞伎教室』を自らプロデュース・演出・出演されているのが、市村萬次郎さんです。



（撮影／芳村 正明）

市村萬次郎さんは歌舞伎界の名門、十七代目市村羽左衛門さんの次男として、兄の坂東彦三郎さんや弟の坂東正之助さんとともに歌舞伎俳優として活躍。しなやかで品の良いお姫様役をはじめ、存在感のある女形や二枚目の立ち役などで人気を集めています。

これまでに、中国･アルゼンチン･旧ソ連･エジプト･韓国など世界各地での海外公演に参加された萬次郎さん。しかし、海外公演は、①短期間の公演は一過性のもので終わってしまう、②たいへんな費用がかかる、③現地での交流は通訳を介した短時間のものである、などから、もっと効果的な方法はないものかと考えたそうです。

また、奥様の潔子夫人が台湾で京劇を学ばれたことから外国人との交流が多いことも、この公演を自ら企画されたきっかけに。難解と言われる歌舞伎のなかからわかりやすい狂言を選んで解説をつけることで、外国人にも理解しやすくすることがその目的。この方法なら、海外公演よりずっと少ない予算で、継続的に実施できるのでは、と考えました。

支援する人々の輪が公演の支えに

1992年の第一回の公演では、世界40数カ国の外国人が来場し、会場の半数以上は外国人の観客で占められました。チケットの申し込みは日本人からのものが多かったためあまり外国人に見てもらえないの

ではと心配されたそうですが、日本人が外国人を連れていっしょに来たケースが多かったとのことでした。来場者に実施したアンケートでも90％以上から「日本文化を知る上で、おもしろかった」という回答が得られました。

これまで公演を企画する際にいつも苦心するのは、さまざまな歌舞伎の要素のなかからなにをレクチャーで紹介するか、という点。歌舞伎の歴史や花道・セリなどの舞台の構造などは、お芝居を楽しむためには直接にはあまり関係のない知識です。それよりも、日本文化に関心をもってもらうには、そのためにはなにを紹介したらいいかがポイント。

また、一番困ったことは、現実的な問題として資金のこと。最初はチケットが完売しても赤字が残るという状態で、毎回、協賛金を募ったり資金の問題を解決するために自ら奔走されるそうです。ですから、実際には非営利の公演であるだけでなく、私財を投じての公演と行っても過言でないとか。

そんななかで、第七回となるここまで継続できたのは、回を重ねるたびに賛同し、応援してくれる人々の輪が広がったから。「普通ならもうやめているだろうと思いますが、ここまで続けることができたのは、みんなでいっしょになってものを作っていこうという気運がこの会から生まれたから」と萬次郎さん。協力してくれる人々の存在が大きな励みとなって、この公演を支えているようです。

今回の公演では新作舞踊にチャレンジ

第七回目の公演となる今回は、8月18日(火)・19日(水)の2日間にわたって、芝メルパルクホールにおいて開催されました。まず、日本語・英語・スペイン語による解説で、女形のメークアップのプロセスを舞台の上で大型プロジェクターを使って紹介。素顔で登場した萬次郎さんが見る見るうちに女性の顔に変化していく様子は、普段は決して見ることのできないものです。続いて、次の幕で上演される狂言のストーリーやそれに関連のある東海道や参勤交代など、江戸時代の交通などについて解説。その後、休憩をはさんで狂言『恋女房染分手綱 重の井子別れの場』が上演されました。これは、階級社会を背景に母子の情愛を描く歌舞伎の「子別れもの」の代表作で、子役として萬次郎さんのふたりの息子さんも活躍しました。

さらに今回は新たな取り組みとして、中村梅玉さんとの共演で新作舞踊『花木蘭 Hua Mu Lan』を上演。年老いた父に代わって敵と戦う中国のヒロイン花木蘭の活躍とロマンスを描いた作品で、京劇の台本をベースに歌舞伎舞踊にアレンジしたもの。今回は、新たにこの作品のために義太夫も作曲して、この公演にのぞみました。この『花木蘭』は偶然にもディズニーの新作アニメとしてこの夏、世界中で公開されるものと同じもの。日本での公開は９月中旬

ということですから、来場した方々は一足早く見ることができたわけです。

また、数学や天文学が趣味という萬次郎さんは、インターネットにもご自身のホームページを公開して、日頃から歌舞伎の紹介につとめています。今回のこの公演もコンピュータ会社等の協力を得て、歌舞伎として世界で初めてインターネットを通じての生中継が行われました。

幕間には、国際電話会社の協力でロビーで国際電話の3分間フリーコールも企画され、会場を訪れた外国人の方々も楽しんでいたようです。

歌舞伎は日本文化を知る“目次”

「歌舞伎は日本文化を知る目次」と萬次郎さんが言うように、舞台を見ることによって建物、小道具、衣裳、生活様式や時代背景など、さまざまな知識を得ることができます。「ひとつの演劇を見ることは、その文化や背景を知ること。そういう背景を感じることがとても重要なこと」(萬次郎さん)。たとえば「廓(くるわ)」を外国語に翻訳しても、一言で理解することは不可能です。当時の文化と深くかかわっていることなので、長時間説明しても理解することはなかなか難しいもの。そういう部分を芝居を見ることで感じることができるのも、観劇のおもしろさのひとつです。

歌舞伎の解説のときに、舞台で化粧を見せるのも、女形への変身のプロセスを見せることによって、関心をもってもらって芝居に自然に入っていくためのひとつの方法として。「歌舞伎は古典芸能であるというのもひとつの側面ですが、そこに新たなテクノロジーを導入することによって、内容は変わらなくても見る人の受けとめ方を変えることはできると思う」と萬次郎さん。

だから「歌舞伎を100人見たうちの1人が好きになってくれるだけでもいい。残りの99人がそれを見たことによって日本を感じて、あとでなにかを見たときにあの時の‥と関心を持ってくれれば」とこの公演にかける期待を語ってくださいました。

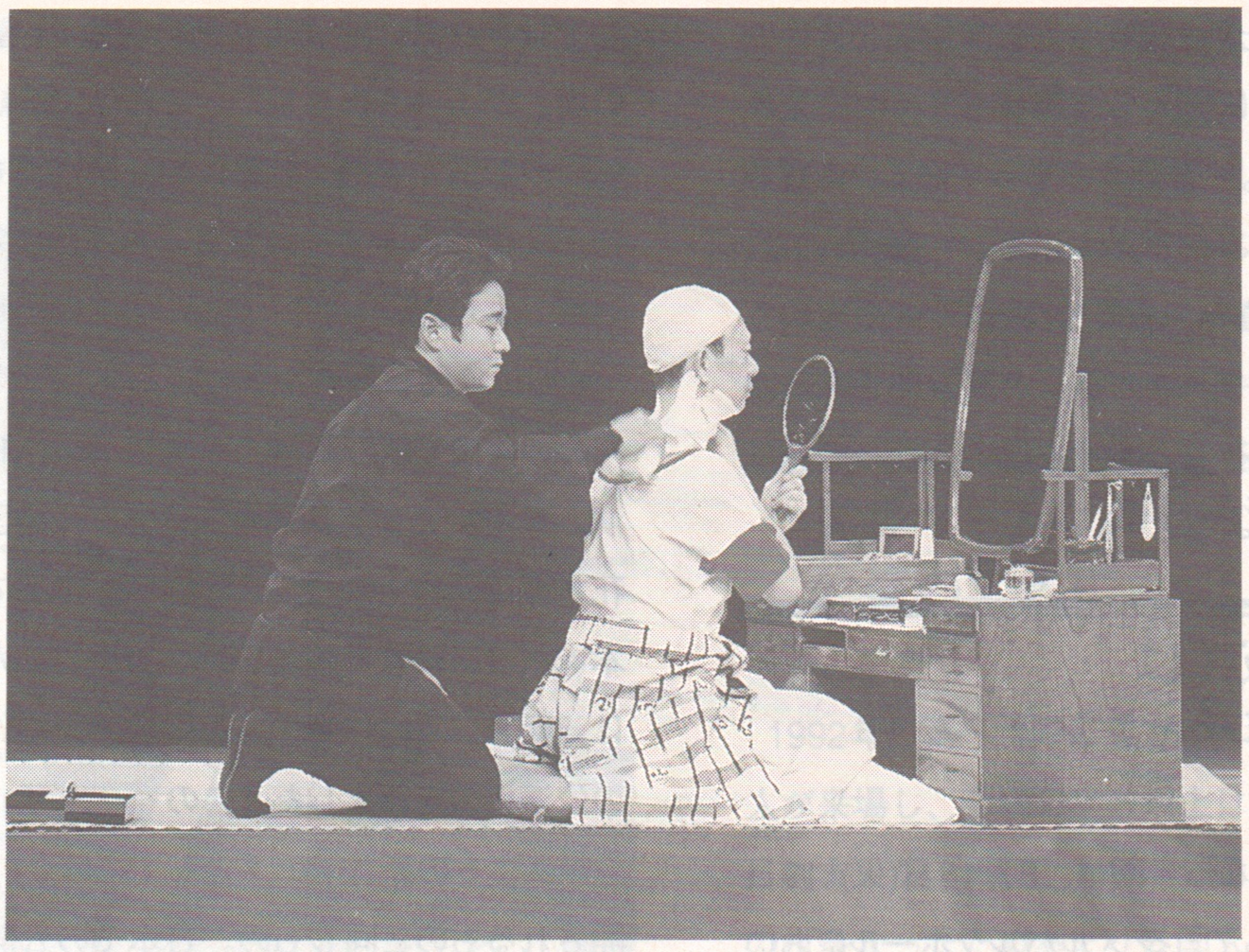
歌舞伎を通して交流の場を提供したい

日頃は歌舞伎の舞台出演が忙しくなかなか時間がとれないという萬次郎さんですが、将来はインターネットのホームページに現在開発中の技術を応用して、３Ｄ(立体)画像で舞踊を世界中に披露したいというのが目標とのこと。

もちろん、この『外国人の為の歌舞伎教室』についてもライフワークとしてできる限り長く続けていきたい、と意欲的です。世界中からさまざまな人々がこの公演に来場し、ひとつの舞台を中心にして交流できる。「一方的に歌舞伎を紹介するのではなく、なにかを感じ、話し合える機会を提供したい。互いに話し合える環境はとても大事だと思うから、これが世界の交流の場になればうれしい」という萬次郎さんに、まさに国際交流の原点を見た思いでした。

400年の伝統を持つ歌舞伎の芸の継承を支えながら、一方では新しいテクノロジーを活用した交流に奮闘する萬次郎さん。そのあふれる熱意と真摯な人柄に接して、これからの萬次郎さんの舞台を拝見することがますます楽しみになりました。

(写真提供／外国人の為の歌舞伎教室事務局)



KOTOBA SOBI

言葉遊び

コンピューターの発達により、漢字を読むことはできても書くことができない、という人が増えてきています。また、意味をきちんと理解しているはずの言葉が、実は間違っているということもしばしば。そこで、初心に戻り、言葉遊びをしてみませんか？

Q.1 次の□に当てはまる漢字はどれですか？

①月末の支払に[あてる]
（充てる・当てる）

②彼は若いが[いし]が強い
（意志・意思）

③流行に[おくれ]ている
（遅れ・後れ）

④列車の車両を入れ[かえる]
（代える・替える・変える）

⑤悪の道から[こうせい]する
（厚生・更正・更生）

⑥車の[しんにゅう]方向を確認する
（侵入・進入・浸入）

⑦兄と私は[たいしょう]的な性格である
（対照・対称・対象）

⑧真理を[ついきゅう]する
（追及・追究・追求）

⑨[はかり]知れない恩を受ける
（測る・計る）

⑩名曲[かんしょう]会へ行く
（観賞・感賞・鑑賞）

Q.2 つぎのひらがなを漢字にすると、どちらですか？

①ぜんごさく
（前後策・善後策）

②いしひょうじ
（意志表示・意思表示）

③じゅわき
（受話器・受話機）

④ぜったい
（絶体・絶対）

⑤げねつ
（解熱・下熱）

Q.3 日本では、外国の地名にあて字を使うことがあります。次の漢字はどこの地名でしょうか？

①布哇　②巴里
③仏蘭西　④独逸
⑤埃及　⑥比律賓
⑦土耳古　⑧英吉利
⑨蘇格蘭　⑩丁抹

Q.4 普通名詞と思い使っている言葉が、実は、ある会社の登録商標名である場合があります。下に商品名を挙げました。それぞれの一般名詞を答えてください。

①ウォークマン
②ローラーブレード
③テトラポッド
④サランラップ
⑤クレパス

Q.5 下線の部分を漢字で書いてください。

①おかぶをうばう
新年会などのパーティーの席で、隠し芸を披露しようと思っていたのに、先に他の人に同じものをやられてしまうこと。

②くだをまく
お酒を飲んで、何度も同じ話を繰り返すこと。

③ずにのる
調子にのりすぎている人のこと。

④たかびしゃ
威張って押しつけがましいこと。

⑤ふにおちない
納得がいかないこと。

Q.6 次の四字熟語を完成させてください。

①意味深□　②理□整然
③有□無実　④□械体操
⑤責任転□　⑥新□気鋭
⑦二□三文　⑧□天白日

●答え
Q1 ①充てる ②意志 ③後れる ④替える ⑤更生 ⑥進入 ⑦対照 ⑧追究 ⑨計る ⑩鑑賞
Q2 ①善後策 ②意思表示 ③受話器 ④絶対 ⑤解熱
Q3 ①ハワイ ②パリ ③フランス ④ドイツ ⑤エジプト ⑥フィリピン ⑦トルコ ⑧イギリス ⑨スコットランド ⑩デンマーク
Q4 ①カセットテープステレオ再生機 ②インラインスケート ③波消しブロック ④ラップフィルム ⑤パステル類
Q5 ①株 奪 ②管 巻 ③図 乗 ④高飛車 ⑤腑 落
Q6 ①長 ②路 ③名 ④器 ⑤嫁 ⑥進 ⑦束 ⑧青

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア入門講習会

これから日本語ボランティアを始めたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、日本語ボランティアに役立つ基礎知識の講座です。初めて日本語ボランティア活動に参加する方はぜひ受講してください。どの回からでも受講可能で、全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

◆日時

'98年9月14日(月) 午後2～4時
'98年9月28日(月) 午後6～8時
'98年10月12日(月) 午後2～4時
'98年10月26日(月) 午後6～8時
'98年11月9日(月) 午後2～4時

◆テーマ／

（9月） 日本語をどのように教えるか
（10月） 日本語ボランティア入門
（11月） 日本語再発見

◆会場／東京ボランティア・市民活動センター 学習室

（JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分）

◆参加費／1回 600円

（TNVN会員は300円）

◆参加申込み／

直接、会場へおこしください。

ネットワーク情報交換会便り『交差点』配布のお知らせ

日本語ボランティアの話し合いの場として隔月に開催しているネットワーク情報交換会では、終了後にネットワーク情報交換会便り『交差点』を発行しています。これは、毎回の話し合いの内容や情報をまとめたレポートです。このネットワーク情報交換会便りをお読みになりたい方は、郵送料をご負担いただければ郵送いたします。

ご希望の方は、TNVN事務局まで送料として80円切手4枚(今年度のネットワーク情報交換会4回分)を郵送してください。

フリーマーケットの商品提供のお願い

TNVNでは9月19・20日に代々木公園で開催される「ASIAN CITY FESTIVAL」に参加して、ブースを出展することになりました。ついては当日のフリーマーケットに参加する商品の提供をお願いしています。

日用品・雑貨・文房具・衣料品(未使用のもの)など、家庭内で眠っている品物がありましたら、TNVN事務局までご提供ください。フリーマーケットでの収益金はTNVNの活動費として活用させていただきます。

◆商品は整理の都合上、9月14日(月)事務局活動時間内か、9月18日(金)午後6時からのネットワーク情報交換会の際にお持ちいただけると助かります。

TNVNの活動情報へパソコンでアクセス！

インターネットのＴＮＶＮ活動情報にアクセスして、日頃の活動にお役立てください。また、ＴＮＶＮへの要望や意見などもお待ちしています。

＜ＴＮＶＮホームページ＞

ＴＮＶＮの講習会など活動情報や教室ガイドの情報も掲載しています。

◆ＵＲＬ：http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/

◆MAIL ID：tnvn@t3.rim.or.jp

※TNVNのホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

日本語ボランティア相談

日本語ボランティア相談窓口では、日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。お気軽にご利用ください。

◆日時／毎週月曜日 午後2～7時

◆会場／東京ボランティア・市民活動センター

◆電話でご確認の上、おこしください。

ネットワーク情報交換会のお知らせ

今年度から新しく会員相互の交流の場として、ネットワーク情報交換会を開催することになりました。第2回は7月17日(金)午後6時から「日本語ボランティアと学習者のかかわり方」をテーマに開催。第3回は下記のスケジュールで、「日本語ボランティアと学習者のかかわり方PART2」と題して、日本語ボランティアの基本的考え方や心がまえなどについて話し合う予定です。この機会に自由に意見や情報を交換して、日頃の活動にお役立てください。TNVN会員以外の方の参加も歓迎いたします。

◆日時／9月18日(金)午後6～8時

◆会場／東京ボランティア・市民活動センター 会議室

◆参加費／無料

◆当日、直接会場へおこしください。

ＴＮＶＮ事務局の連絡先

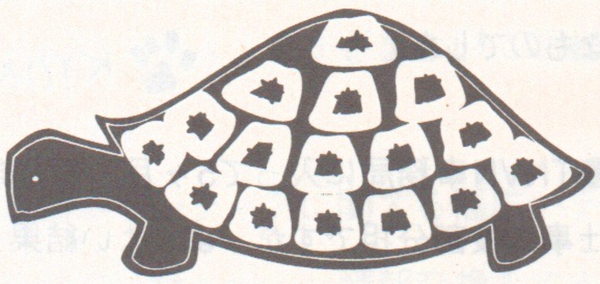
ＴＮＶＮ事務局は、原則として毎週月曜日午後1～8時に東京ボランティア・市民活動センターで活動をしています。ＴＮＶＮへのお問い合わせ等は、下記までなるべく郵便かＦＡＸでお願いします。

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター気付
TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク
TEL：03-3235-1171
（呼出し／月曜日午後のみ）
FAX：03-3235-0050

「TOKYO ASIAN CITY FESTIVAL'98」開催のお知らせ

世界と友達になる会(東京エイジアンシティ・フェスティバル'98実行委員会)の主催による「TOKYO ASIAN CITY FESTIVAL'98」が下記のスケジュールで開催されます。アジア各国の民族芸能などを紹介するミニステージや雑貨・食品の即売、フリーマーケットなど、アジアの文化を広く紹介するバラエティゆたかなイベントです。実行委員として参加しているTNVNもブースを出展しますので、ぜひご来場ください。

◆日時／9月19日(土)・20日(日)
10:00～18:00
◆会場／代々木公園
(JR 原宿駅 徒歩3分)
◆多国籍生活雑貨バザール・フリーマーケット・民族芸能などのステージ・国際交流をテーマとした各種イベントなど
◆入場無料
◆問い合わせ／
EMPC在日外国人生活情報誌連合会
電話：03-3376-0555
FAX：03-3376-0765



「国際協力フェスティバル」のご案内

毎年恒例となった「国際協力フェスティバル」が今年も開催されます。世界各地で活動しているNGOや関連機関が一同に会するフェスティバルです。

◆日時／10月3日(土)・4日(日)
◆会場／日比谷公園
◆問い合わせ／NGO活動推進センター
TEL：03-3294-5370

『ボランティア日本語教室ガイド』領布中！

ＴＮＶＮ発行の『ボランティア日本語教室ガイド'97』には、145クラスの活動情報を日本語と英語で掲載。あわせて、外国人のための情報源や相談窓口などのデータも掲載しています。ご希望の方は、東京ボランティア・市民活動センターの窓口へ直接おこしいただくか、郵便振替で料金をお払込みください。入金を確認次第、郵送します。

◆領布価格(実費)／1冊600円
郵送希望の場合は送料込み1000円
◆払込み先／郵便振替口座番号
00100-1-719259
(通信欄に『教室ガイド』と記入)
◆加入者名／
東京日本語ボランティア・ネットワーク

東京ドームプロ野球観戦チケットのプレゼント

日本ハムファイターズのご厚意により「ヤンキーズデイ」9月20日(日)のプロ野球観戦チケット（日本ハムvsダイエー戦・ディゲーム）を在日外国人の方々に無料でプレゼント。外国人を引率する日本人の方にもプレゼントします。ご希望の方は下記までお申し込みください。

◆80円切手を貼った返信用封筒を同封の上、連絡先・チケットの希望枚数(10枚まで)を明記して申し込んでください。
◆締切り／9月14日(月)必着
(チケット200枚を先着でプレゼント)
◆申し込み・問い合わせ／
〒187-0045
小平市学園西町2-7-13-102
定住外国人支援ネットワーク
山崎アレン美智子
TEL／0423-45-6358

JAFSが日本語学習者を募集中！

TNVN会員団体のJAFSでは、日本語を学びたい学習者を募集しています。近くの方がいらしたら、ぜひご紹介ください。

◆学習時間／毎週水曜日 18:50～20:30
◆会場／日本聖公会 三光教会会館
品川区旗の台6-22-24
東急 大井町線・池上線
旗の台駅 北口より徒歩5分
◆学習者会費／1ヶ月 500円
◆申し込み・問い合わせ／JAFS吉村 輝夫
TEL：03-3703-6696（19:00～21:00）

日本語エッセイコンクール「私が伝えたい日本」、募集中！

アルクが『月刊日本語』の創刊10周年を記念して、外国人が審査する日本語エッセイコンクールを開催します。あわせて、それを審査する外国人も募集していますので、関心のある方はご応募ください。

◆テーマ／「私が伝えたい日本」
日本語を学ぶ外国人へのメッセージ
◆応募資格／どなたでも
◆応募規定／日本語で800字以内、横書き。ワープロの場合は横20字×40行で。
原稿の余白か別紙に①氏名(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号④年齢⑤性別⑥職業を記入して、郵送・FAX・E-MAILのいずれかで応募。
◆締切り／9月30日(水)必着
◆発表／12月、優秀作品は
『月刊日本語』誌上で紹介。
◆応募・問い合わせ／(株)アルク
『月刊日本語』編集部「エッセイ係」
〒168-0064 杉並区永福1-44-12
永福中根ビル4階
TEL：03-3323-0062
FAX：03-3323-2021
E-MAIL：gn@alc.co.jp

BULLETIN BOARD

SPECIAL THANKS

★KDD 国際電信電話(株) 様

ニュースレターの印刷にご協力いただきました。

★外国人の為の歌舞伎教室事務局

市村 萬次郎 様

快く取材に応じていただきました。

メディアに見るTNVN情報

◆時事画報社 発行

『PACIFIC FRIEND』'98年6月号

ボランティア日本語教室学習者による座談会を掲載

◆アルク発行『月刊 日本語』'98年10月号

日本語ボランティアの活動の紹介(TNVN会員団体)

Welcome! 新入会員のご紹介

◆正会員(団体)

寺子屋kidsセンター（多摩市）

虹の会火曜クラス（港区）

ＪＡＦＳ（品川区）

◆協力会員(個人)

渡辺 晧子、筋田 えい子、竹内 由記子、山縣 みつる、蛯原 都喜子、飯野 毅与志、（敬称略）

'98年8月20日現在の会員数は、正会員77団体・協力会員114名・賛助会員11です。

事務局DIARY

ずいぶん個人的な見解ですが、ボランティアを始めるきっかけは、軽いサークル活動のようなものでもかまわないと思っています。ボランティアという言葉にとらわれて、しかつめらしい理想や主義をかかげて取り組み、その結果、活動そのものが重荷になってしまってはもともこもない、と考えるからです。何事も、楽しんでやるということが大切なのではないでしょうか。

ただ、そのサークル感覚と、いい加減でもかまわない、というのは、もちろん別です。一度足を踏み入れた以上、責任感をもって、その「楽しそうだから始めたこと」に取り組んでほしいと思います。真摯な態度で取り組んでこそ、ものごとはおもしろみを増すからです。スポーツだって何だって、ルールをちゃんと理解して、練習を重ね、仲間と協力し、継続してやってこそ楽しいのではないでしょうか。どんなに楽しいことも、三日坊主ではその醍醐味はわからないと思いますし、極めれば極めるほど、その素晴らしさを理解できるのだと思います。

ここＴＮＶＮでは、その継続の力で「醍醐味」を得たように思われる方とたくさん出会います。苦しかったり辛かったりすることもあるのでしょうけれど、それを凌駕する素晴らしい宝物を山ほどもっているのに違いないと、面倒くさそうなお仕事を、それでも楽しそうにこなしてゆくスタッフの姿を見て想像します。

今はまだあまり役には立ちませんが、私なりに経験を積んで、その宝物を増やしてゆきたいと思います。

上野 悦子（ＴＮＶＮ運営委員）

編集後記

●すっかり原稿を忘れてしまいました。発行が遅れた理由の一部です。ゴメンナサイ。 パーラークー

●日本語以外の外国人にかかわるボランティアとして働いて、この夏は終わった。ときに本業の仕事以上にハードだったけれど、そこで得たたくさんの出会いと経験は貴重なものでした。 KYOKO

●TNVN事務局に入って5ヶ月。事務局の仕事は役割分担ですが、よりよい結果を求めて多くの意見に耳を傾け討論しているスタッフの方々のご苦労を初めて知りました。ボランティアにはなによりも責任が伴うことを自覚しなければできないことです。皆様の足をひっぱらないよう努力しますので、どうぞよろしくお願いします。

発行人／中田 紀子
編集人／前田 恭子
レイアウト／鶴田 環恵

TNVNとは

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。